

款	土木費	項	道路橋梁費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	橋梁耐震対策事業							
施策の大綱	市民の生活と財産を守り，安心・安全な，明るいまちづくり							
予算額	特定財源			一般財源	予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他					
36,300		32,600		3,700	・委託料	3,300	・工事請負費	33,000
施策の概要								
【施策の目的】 橋梁の耐震性を向上させ，地震災害時における避難路及び緊急輸送路の確保を図ることを目的としています。 【施策の概要】 ◎桜川1号橋（銭亀橋）耐震補強工事 33,000千円 橋梁延長 107m 幅員 9m ◎国道6号2号橋（永国跨道橋）耐震補強設計委託 3,300千円 橋梁延長 33m 幅員 12m 【期待される効果】 耐震補強工事の実施により，大規模地震が発生した場合でも橋梁の損壊を防ぐことが可能となり，避難路及び緊急輸送路を確保することができます。								
								
					桜川1号橋（銭亀橋）現況			

款	土木費	項	道路橋梁費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	橋梁長寿命化修繕事業							
施策の大綱	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり							
予算額	特定財源			一般財源	予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他					
15,771	8,674			7,097	・委託料 15,771			

施策の概要

【施策の目的】

橋梁の老朽化が進んでいるため、策定した橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋長15m以上の橋梁を対象に、計画的かつ予防的な修繕を行い、道路交通の安全性を確保することを目的としています。

【施策の概要】

◎詳細設計委託 15,771千円

- (1) 東真鍋1号橋（木田余立体橋）
- (2) 山王橋
- (3) 大志戸橋
- (4) 国道6号4号橋（天川跨道橋）
- (5) 境川2号橋
- (6) 国道6号2号橋（永国跨道橋）
- (7) 常磐線2号橋（三番橋）
- (8) 新川9号橋（神天橋）
- (9) 桜川1号橋（銭亀橋）



東真鍋1号橋（木田余立体橋）現況

【期待される効果】

計画的かつ予防的な修繕を行うことにより、橋梁の長寿命化を図り、老朽化する橋梁の維持管理コストの縮減と予算の平準化を行い、道路交通の安全性と信頼性を将来にわたり確保することができます。

款	土木費	項	道路橋梁費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	道路新設改良事業							
施策の大綱	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり							
予算額	特定財源			一般財源	予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他					
1,030,000	100,000	837,000		93,000	・工事請負費 740,000 ・委託料 117,850 ・公有財産購入費 90,600 ・補償補填及び賠償金等 81,550			
施策の概要								
【施策の目的】								
日常生活の利便性の向上及び生活環境の改善を図るとともに、歩行者及び自転車通行の安全を確保することを目的としています。								
【施策の概要】								
(1) 道路改良工事	38路線	L = 6,880m	740,000千円					
(2) 測量設計委託	41路線	L = 11,415m	117,850千円					
(3) 用地取得	30路線	A = 11,082㎡	90,600千円					
(4) 物件移転補償			70,670千円					
(5) 役務費（登記料等）			8,000千円					
(6) 原材料購入			700千円					
(7) 事務費			2,180千円					
※市道改良率45.91%，舗装率76.49%								
路線数6,883路線，実延長1,506km（平成24年4月現在）								
【期待される効果】								
道路拡幅整備により日常生活の利便性の向上を図るとともに、歩行者及び自転車の通行空間の確保，緊急車輛等の通行を可能にすることにより，市民の安全と交通事故防止に寄与します。								



市道並木三丁目6号線整備状況

款	土木費	項	道路橋梁費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	道路新設改良事業 《合併特例債事業》							
施策の大綱	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり							
予算額	特定財源			一般財源	予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他					
202,350		192,000		10,350	・工事請負費 94,000 ・委託料 21,000 ・公有財産購入費 51,500 ・補償補填及び賠償金等 35,850			

施策の概要

【施策の目的】

日常生活における市民の利便性を向上させ、市の一体性の速やかな確立を図ることを目的としています。

【施策の概要】

(1) 道路改良工事	9路線	L = 1,940m	94,000千円
(2) 測量設計委託	2路線	L = 650m	21,000千円
(3) 用地取得	4路線	A = 2,850㎡	51,500千円
(4) 物件移転補償			33,000千円
(5) 役務費（登記料等）			2,850千円



市道小山崎90号線整備状況

※全体事業費 C = 2,306,659千円 執行率46% (平成24年4月現在)

【期待される効果】

旧新治村と土浦市街地を連絡する幹線道路を整備することにより、混雑解消等の交通事情が改善され、新市内のネットワークの構築に寄与します。

款	土木費	項	河川費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)	
事業名	都市下水路整備事業・小規模排水路整備事業								
施策の大綱	市民の生活と財産を守り，安心・安全な，明るいまちづくり								
予算額	特定財源			一般財源	予算の概要				
	国県支出金	地方債	その他						
675, 100	161, 400	460, 700		53, 000	・工事請負費 450, 700 ・公有財産購入費 188, 400 ・委託料 31, 000 ・補償補填及び賠償金等 5, 000				
施策の概要									
【施策の目的】									
豪雨による道路冠水等を解消するため，雨水を速やかに排除する施設の整備を計画的に進めます。									
【施策の概要】									
◎都市下水路									
(1) 神立菅谷都市下水路		用地取得	A＝36, 200㎡						
		調整池護岸整備工事	L＝850m						
		管理用道路	L＝120m						
		暫定整備（JR上流部）	L＝200m						
		JR常磐線横断工事概略設計	L＝66m						
(2) 西根竹の入都市下水路		整備工事	L＝50m						
(3) 西真鍋都市下水路		整備工事	L＝70m						
(4) 天川上高津都市下水路		整備工事	L＝120m						
◎小規模排水路									
(1) 神立東一丁目地内小規模排水路		整備工事	L＝100m		西根竹の入都市下水路整備状況				
(2) 虫掛地内小規模排水路		整備工事	L＝200m						
(3) 田中二丁目地内小規模排水路		実施設計外	L＝400m						
【期待される効果】									
大雨による浸水被害が減少し，市民の生活環境の向上に寄与します。									

款	土木費	項	都市計画費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	地域公共交通確保維持改善事業							
施策の大綱	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し，快適でゆとりのあるまちづくり							
予算額	特定財源			一般財源	予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他					
17,069			11,107	5,962	・負担金補助及び交付金			17,069
施策の概要								
【施策の目的】 平成21年度に策定された「土浦市地域公共交通総合連携計画」に基づき，高齢者，学生等の交通弱者に対する移動手段の確保や環境負荷の小さい交通体系を構築するため，地域・住民，企業，交通事業者，行政の役割・責任のもと，公共交通活性化施策の展開を図ります。								
【施策の概要】 地域・住民，企業，交通事業者，行政の連携のもと，土浦市地域公共交通活性化協議会を中心として下記の施策を実施します。 (1) コミュニティ交通試験運行 14,000千円 ・平成23年10月から新治地区で運行を開始したコミュニティ交通の試験運行を引き続き実施します。 ・運行に当たっては，経費の7割を上限として行政が支援します。 (2) 広報・PR事業（ホームページ更新，公共交通案内・点字版ガイドブック作成） 361千円 (3) 市民モニターによるバス評価制度 32千円 (4) デマンド型交通活性化事業（乗合タクシー拡充方策検討，平成24年度からの継続事業） (5) バス運行対策費負担金 223千円 (6) 霞ヶ浦広域バス運行対策費補助金 1,822千円 (7) 協議会運営経費 631千円								
【期待される効果】 地域・住民の主体によるコミュニティ交通導入により，公共交通不便地域の解消に寄与します。 また，情報提供等の各種施策により，公共交通の維持及び活性化が図られます。								



新治バス



新治バス

款	土木費	項	都市計画費	事業区分	新規	拡大	(継続)	(単位：千円)
事業名	特定幹線道路整備調査事業							
施策の大綱	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり							
予算額	特定財源			一般財源	予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他					
4,610		3,500		1,110	・委託料	3,969		
					・工事請負費	500		
					・報酬	128		
					・需用費	13		

施策の概要

【施策の目的】

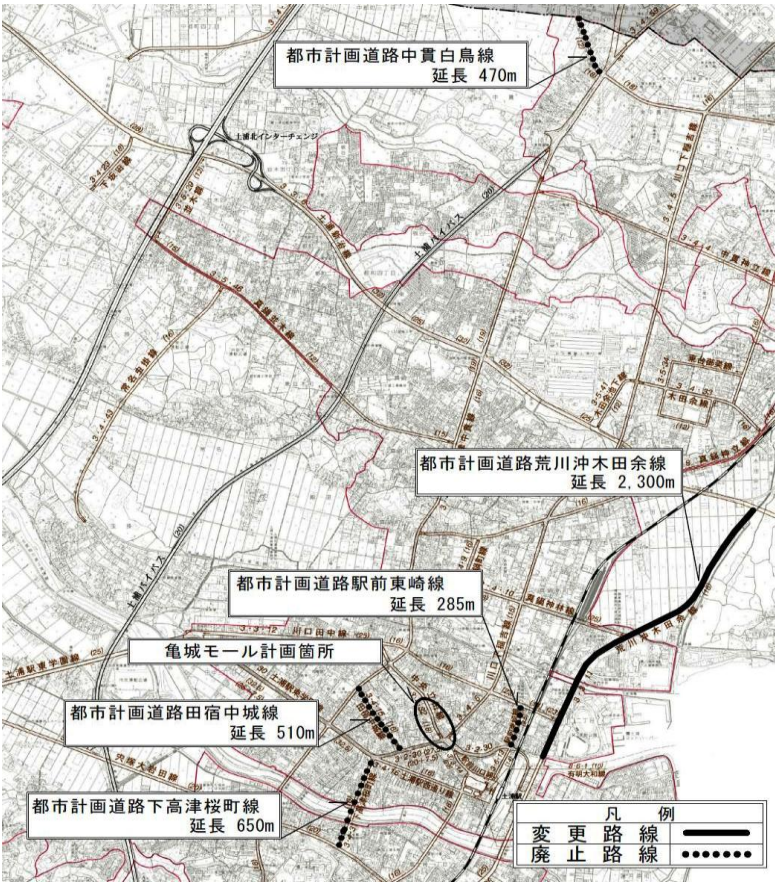
平成17・18年度に実施した「土浦市総合交通体系調査」に基づき、幹線道路網交通体系を確立し、円滑で安心・安全な交通体系を構築します。

【施策の概要】

- (1) 都市計画道路の変更（廃止）決定都市計画審議会等運営経費 141千円
変更予定路線：荒川沖木田余線
廃止予定路線：下高津桜町線，田宿中城線，駅前東崎線，中貫白鳥線
- (2) 亀城モール詳細設計業務委託 3,969千円
- (3) 荒川沖木田余線
・立入防止柵設置工事 500千円

【期待される効果】

幹線道路網交通体系の確立により、円滑で安心・安全な交通体系が構築されます。また、都市計画道路整備方針に基づき都市計画変更や廃止を進めることにより、効率的な道路整備を行うことができます。



款	土木費	項	都市計画費	事業区分	新規	拡大	(継続)	(単位：千円)
事業名	都市計画マスタープラン策定（見直し）事業							
施策の大綱	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり							
予算額	特定財源			一般財源	予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他					
10,322	9,661			661	・委託料 ・報償費 ・需用費等	9,662 480 180		

施策の概要

【施策の目的】

都市計画マスタープランの計画期間20年（平成16年～平成35年）の中間期に当たり、まちづくり三法の改正や少子高齢化の進展、低炭素社会の実現等、社会経済状況の変化に対応した都市構造に対応するため、市民の意見を反映させながら、都市の将来像を明確にし、その実現に向けての道筋を明らかにします。

【施策の概要】

平成26年度の公表に向け、現在、旧土浦市、旧新治村においてそれぞれ策定している都市計画マスタープランを一本化し、見直します。

<平成24年度>

- ・現計画、各種統計、事業等の検証
- ・全体構想の検討
（土地利用や都市施設の方針等）
- ・まちづくりアンケート調査
- ・策定委員会の開催

<平成25年度>

- ・地区別構想の検討
（土地利用や都市施設の方針等）
- ・地区まちづくり懇談会
- ・計画案パブリックコメント
- ・策定委員会、都市計画審議会の開催

〔継続費（委託料）〕	平成24年度	7,349千円		
	平成25年度	9,662千円	総額	17,011千円

●財源として、市町村合併推進体制整備事業費補助金を活用します。

【期待される効果】

長期的視点に立って、将来の目指すべき都市像を明らかにすることにより、個々の都市計画決定など、まちづくりを行う上での必然性、妥当性を検証するための指針となります。



款	土木費	項	都市計画費	事業区分	新規	拡大	(継続)	(単位：千円)
事業名	かわまちづくり計画策定事業							
施策の大綱	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり							
予算額	特定財源			一般財源	予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他					
3,182				3,182	・委託料 ・報償費等	3,000 182		

施策の概要

【施策の目的】

本市のまちづくり資源でもある霞ヶ浦や桜川などの水辺空間をまちづくりに活かすため、市民・河川管理者・市の連携の下で整備・利活用計画を立案し、まちと水辺が融合した良好な空間形成を推進します。

【施策の概要】

平成25年度のかわまちづくり支援制度登録を目指した計画策定を行います。

- | | | |
|-----|------------------|---------|
| H24 | ・かわまちづくり計画策定業務委託 | 1,859千円 |
| | ・市民アンケート | |
| | ・河川管理者協議 | |
| | ・庁内連絡調整会議 | |
| H25 | ・かわまちづくり計画策定業務委託 | 3,000千円 |
| | ・外部委員会の開催 | |
| | ・パブリックコメントの実施 | |

【期待される効果】

河川管理者及び市が、計画に位置付けた事業を実施することにより、まちと水辺が融合した良好な空間形成を図り、市民にうるおいや安らぎをもたらし、生涯学習、健康づくり、遊びの場等となるとともに、恵まれた自然環境を活かしたまちの活性化に寄与します。



現在の霞ヶ浦湖畔（港町）



現在の桜川河畔（銭亀橋付近）



水辺空間の活用方針(都市計画マスタープランにおける位置付け)

款	土木費	項	都市計画費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	歴史の小径整備事業							
施策の大綱	産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり							
予算額	特定財源			一般財源	予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他					
157,300	53,400	87,100		16,800	・委託料 71,300 ・工事請負費 85,000 ・補償補填及び賠償金 1,000			

施策の概要

【施策の目的】

土浦城址を中心とした歴史的資源と道路との調和による独自の町並み形成を活用し、回遊性や界わい性を創出することを図ります。

【施策の概要】

◎歴史の小径整備事業（市道大手町1号線外：土浦小学校前）

- (1) 整備延長 L=370m 幅員W=5.1～7.35m
電線類地中化工事 L=280m, 道路修景工事 L=370m

- (2) 事業年度
平成12年度～平成25年度

- (3) 平成25年度事業 電線類地中化工事委託(71,300千円) L=280m
道路修景工事等(85,000千円) L=370m
補償(1,000千円)

【期待される効果】

中心市街地の活性化と快適な居住環境及び景観の向上に寄与します。



位置図



完成イメージ図

款	土木費	項	都市計画費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)	
事業名	都市景観整備事業								
施策の大綱	産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり								
予算額	特定財源			一般財源	予算の概要				
	国県支出金	地方債	その他						
12,524	3,700			8,824	・備品購入費 3,700 ・委託料 3,000 ・負担金補助及び交付金 5,500 ・報酬等 324				
施策の概要									
【施策の目的】 土浦市景観計画並びに景観条例に基づき、景観審議会やアドバイザー制度の運営を行います。また、平成24年度に策定した公共サイン整備ガイドラインに基づいた公共サイン（誘導サイン）設置事業や、新たな景観形成重点地区設定検討のための調査・ワークショップを行い、より「土浦らしさ」を醸成する景観行政の推進を図ります。									
【施策の概要】									
(1) 歴史的町並み景観形成事業 (予算額：5,500千円)		「旧城下町とその周辺地区」において、歴史的建造物等の保存や修景補助制度 ・景観重要建造物 上限5,000千円 補助率2／3 ・中城通り地区の建築物 上限3,000千円 補助率2／3 ・上記以外の建築物 上限1,500千円 補助率1／2 ・外構等 上限1,000千円 補助率1／2 ・まちづくり活動補助 上限 250千円 補助率1／2							
(2) 都市景観整備事業 (予算額：6,524千円)		駅前通り公共サイン（誘導サイン）設置事業 3,200千円 真鍋通り地区景観まちづくり調査事業 3,000千円 景観審議会、景観アドバイザー制度の運営等 324千円							
(3) 歴史の小径整備事業 (予算額： 500千円)		通りの名称看板の設置 500千円							
【期待される効果】 本市固有の財産である歴史景観、自然景観（霞ヶ浦、筑波山麓），都市景観の維持・保全及び向上に寄与します。									



誘導サイン



款	土木費	項	都市計画費	事業区分	(新規)	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	協働のまちづくり基金事業							
施策の大綱	産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり							
予算額	特定財源			一般財源	予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他					
172				172	・報償費	75		
					・旅費	94		
					・需用費	2		
					・積立金	1		

施策の概要

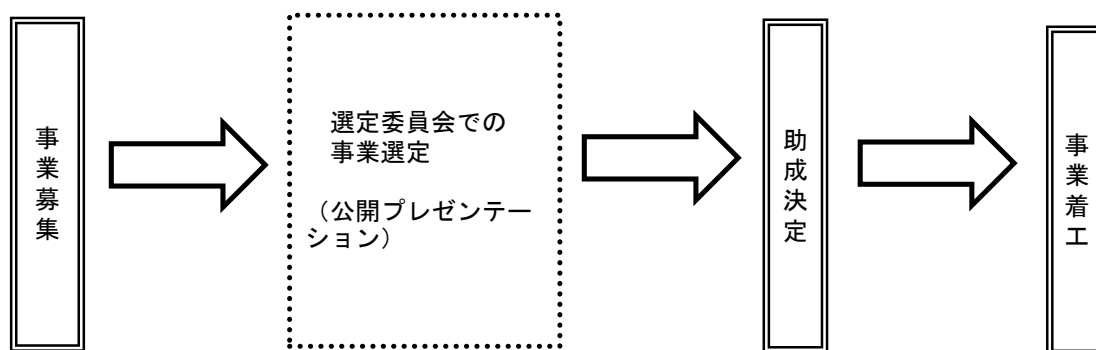
【施策の目的】

市民と行政が対等のパートナーとして、お互いの課題や責任を共有しながら連携と協働のまちづくりを実践していくため、まちづくりや中心市街地活性化に資する市民活動を積極的に支援する「市民参加型まちづくりファンド」を創設し、住民提案による「新たな公共」の担い手を支援していくものです。

【施策の概要】

◎市と民間都市開発推進機構の拠出金に加え、市民の寄附を原資として基金（ファンド）の設立を行います。

◎市民提案事業については、公開方式でのプレゼンテーションにより事業採択を行います。



事業の流れ



ファンド活用のイメージ（空き店舗の改修）

【期待される効果】

「新たな公共」の担い手である市民団体等の活動を支援することにより、市民協働のまちづくりが実践されます。

款	土木費	項	都市計画費	事業区分	(新規)	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	自転車交通ネットワーク整備事業							
施策の大綱	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり							
予算額	特定財源			一般財源	予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他					
4,804				4,804	・委託料 ・需用費			4,800 4
施策の概要								
【施策の目的】 平成17・18年度に実施した「土浦市総合交通体系調査」に基づき、自転車に対する円滑な都市交通の確保と機能の充実を図ります。								
【施策の概要】 ◎自転車交通ネットワーク整備計画検討 4,800千円 ・検討対象箇所ごとの整備手法の検討 ・整備優先順位の検討 ・つくばりんりんロード、霞ヶ浦自転車道から中心市街地への誘導経路の検討 ・整備プログラムの作成 ・関係機関との協議 ◎連絡調整会議の開催 4千円 ・整備状況の把握及び意見交換								
【期待される効果】 自転車空間を確保した交通網の形成により、自転車と歩行者両方における円滑で安心・安全な交通体系が構築されます。また、主要観光施設への接続により、観光客の増加に寄与します。								
				基本的な整備形態	整備イメージ			
				自転車道				
				自転車専用通行帯				
				自転車と自動車を混在通行とする道路（車道混在）				
自転車通行空間の整備イメージ								

款	土木費	項	都市計画費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	土浦駅西口広場整備事業							
施策の大綱	産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり							
予算額	特定財源			一般財源	予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他					
37,300	17,700	15,900	3,700		・委託料 37,300			

施策の概要

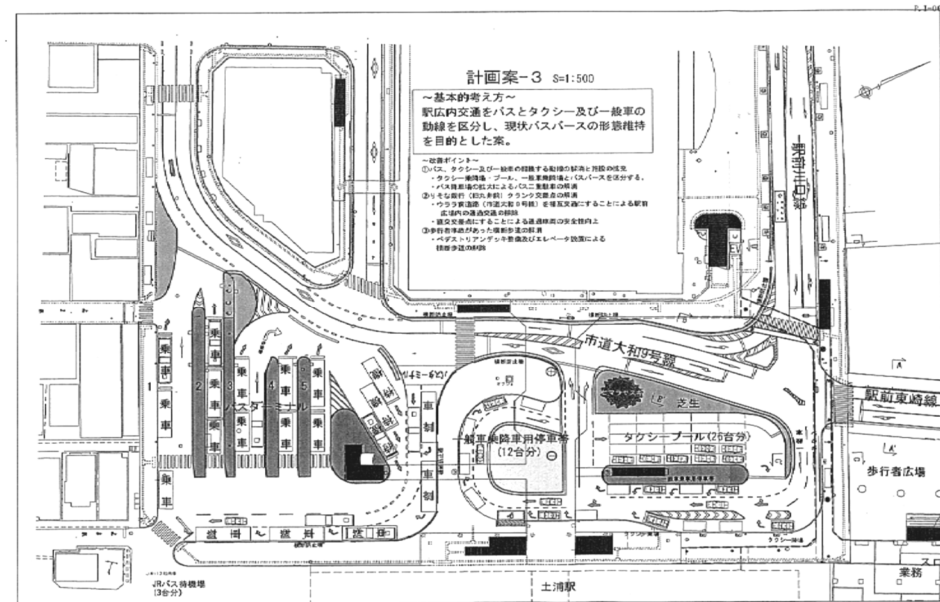
【施策の目的】

J R 土浦駅利用者送迎のための一般車両やバス・タクシー車両のほか、通過交通等で交錯していることに加え、バスの待機スペースが狭小なことによるバスの降車スペースでの待機により、常態化している広場内の混雑の解消を図ります。また、市役所庁舎の駅前（ウララ）への移転や、現在計画が進められている土浦駅前北地区市街地再開発事業により、今後更なる交通量の増加が見込まれるため、その交通混雑の解消を図ります。

【施策の概要】

◎土浦駅西口広場整備事業（37,300千円）

- 広場再整備面積 A=9,800㎡
ペDESTリアンデッキの検討
日本庭園の撤去
- 事業年度 平成19年度～平成26年度
- 平成25年度事業
路線測量委託（1,900千円） A=11,000㎡
地質調査委託（6,400千円）
実施設計委託（29,000千円）



検討案図

【期待される効果】

駅前広場内交通において、バスとタクシー及び一般車が輻輳する動線を解消し、りそな銀行前のクランク交差点を解消するとともに、歩行者と車を分離することで安全で利用しやすい駅前広場とします。

款	土木費	項	都市計画費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	既存建築物耐震化推進事業							
施策の大綱	市民の生活と財産を守り，安心・安全な，明るいまちづくり							
予算額	特定財源			一般財源	予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他					
4,950	2,710			2,240	・負担金補助及び交付金 2,500 ・委託料 2,450			

施策の概要

【施策の目的】

「土浦市耐震改修促進計画」に基づき，昭和56年法改正以前の木造住宅を対象に耐震診断を行い，耐震診断を行った住宅を対象として耐震改修計画作成費及び耐震改修工事費を補助することによって，住宅の耐震化を促進し，地震に強く，市民が安全に安心して暮らせるまちづくりを目指します。

【施策の概要】

事業名	概要	備考
木造住宅耐震診断事業 (35千円×70戸＝2,450千円)	昭和56年法改正以前の木造住宅を対象に茨城県木造住宅耐震診断士を派遣し，耐震診断を行うことで危険度の認識を図るとともに，耐震改修を促進します。	(実績) 平成17～24年度 638件
木造住宅耐震計画作成費補助事業 (100千円×10戸＝1,000千円)	耐震診断を実施した住宅のうち，危険度の高い住宅（耐震診断における上部構造評点が1.0未満）の耐震改修計画作成費を補助します。	(実績) 平成21～24年度 7件
木造住宅耐震改修工事費補助事業 (300千円×5戸＝1,500千円)	耐震計画を作成した住宅を対象に，危険度の高い住宅の耐震改修工事費（上部構造評点が0.3以上上昇し，かつ1.0以上となる工事）を補助します。	(実績) 平成21～23年度 5件
木造住宅耐震改修促進事業	耐震診断を過去に受診した方へアンケート調査を実施し，情報を把握することにより，耐震改修の促進策を検討します。	(送付件数) 638件

【期待される効果】

市民の耐震性に対する意識が高まり，住宅の耐震化が進むことで，まち全体の地震に対する安全性の向上に寄与します。

耐震診断の様子



款	土木費	項	都市計画費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)									
事業名	宍塚大池周辺地区開発事業																
施策の大綱	産業の振興を図り，活力とにぎわいのあるまちづくり																
予算額	特定財源			一般財源	予算の概要												
	国県支出金	地方債	その他														
1,730,913			1,727,913	3,000	・公有財産購入費 1,727,913 ・委託料 3,000												
施策の概要																	
【施策の目的】																	
宍塚大池周辺地区は，自然環境に配慮しながら，中心市街地と筑波研究学園都市との中間に位置する地理的優位性，土浦駅東学園線に隣接するなどの交通条件を活かした機能配置や，広域のかつ長期的な視点に立った整備を検討するとともに，地区内の市有地について，市民が利用しやすい土地の有効活用を図ります。																	
【施策の概要】																	
◎先行取得用地の買い戻し 1,727,913千円																	
<table><tr><td></td><td>先買い年度</td><td>筆数</td><td>面積（㎡）</td></tr><tr><td>土地開発公社</td><td>S61～H8</td><td>72</td><td>61,213.37</td></tr></table>											先買い年度	筆数	面積（㎡）	土地開発公社	S61～H8	72	61,213.37
	先買い年度	筆数	面積（㎡）														
土地開発公社	S61～H8	72	61,213.37														
◎宍塚大池周辺地区用地利活用検討調査 3,000千円																	
【期待される効果】																	
恵まれた自然環境と地理的優位性に配慮した土地の利活用に寄与します。																	



宍塚大池



宍塚大池

款	土木費	項	都市計画費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	神立駅西口地区土地区画整理事業							
施策の大綱	産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり							
予算額	特定財源			一般財源	予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他					
184,414		136,300		48,114	・負担金補助及び交付金 184,414			

施策の概要

【施策の目的】

神立駅西口地区において、土地区画整理事業等により、西口駅前広場及び都市計画道路神立停車場線等の整備を進め、駅前にふさわしい市街地形成を目指します。

施行者 土浦・かすみがうら土地区画整理一部事務組合

施行面積 約2.2ha(土浦市 1.31ha, かすみがうら市 0.88ha)

都市施設概要 西口駅前広場 約4,800㎡ 神立停車場線 W=22m L=23m

神立駅前西通り線W=13.5～15m L=211m

神立駅東西自由通路線W=6m L=40m

東口歩行者専用道路 W=6～17m L=500m A=6,188㎡



西口駅前広場現況

【施策の概要】

土浦・かすみがうら土地区画整理一部事務組合への負担金

(1) 区画整理等事業費分・減価買収・建物補償 145,080千円

・東口歩行者専用道路基本計画等 6,375千円

(2) 事務費及び派遣職員人件費分 32,959千円



土地区画整理整備構想図

【期待される効果】

駅前広場、都市計画道路等の整備と共に橋上駅舎や自由通路を整備することにより、神立駅を中心とした健全で活力のある市街地の形成を図ることができます。

款	土木費	項	都市計画費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	川口田中線・木田余神立線・神立停車場線街路事業							
施策の大綱	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり							
予算額	特定財源			一般財源	予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他					
334,522	132,000	168,300		34,222	・工事請負費 116,800 ・公有財産購入費 77,520 ・補償補填及び賠償金 122,900 ・委託料等 17,302			

施策の概要

【施策の目的】

都市計画道路川口田中線のうち、事業未着手区間をⅢ期分として整備し、全区間延長2,500mの開通を目指します。

木田余神立線は、木田余土地区画整理事業地内から神立工業団地（神立配水場前）までの区間が完了し、引き続き、残りの未整備区間を事業化して、市北部地域における円滑な交通動線を確保することで、南北軸の強化を図ります。

また、神立停車場線は、神立駅西口地区土地区画整理地からかすみがうら市との行政界までの道路の整備により、交通動線の確保と快適な環境の形成を図ります。

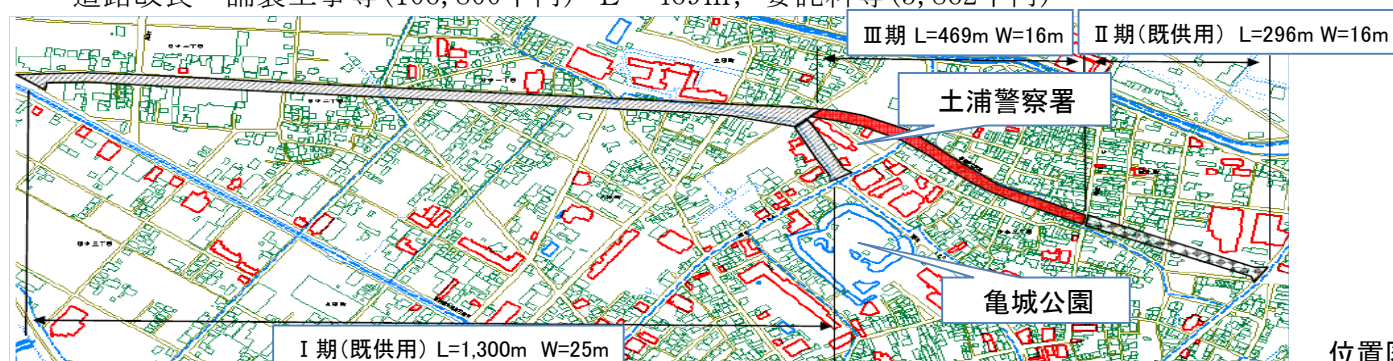
【施策の概要】

◎川口田中線街路事業（Ⅲ期）（213,082千円）

(1) 全体整備延長 L=469m, 幅員 W=16m

(2) 事業年度 平成21年度～平成25年度

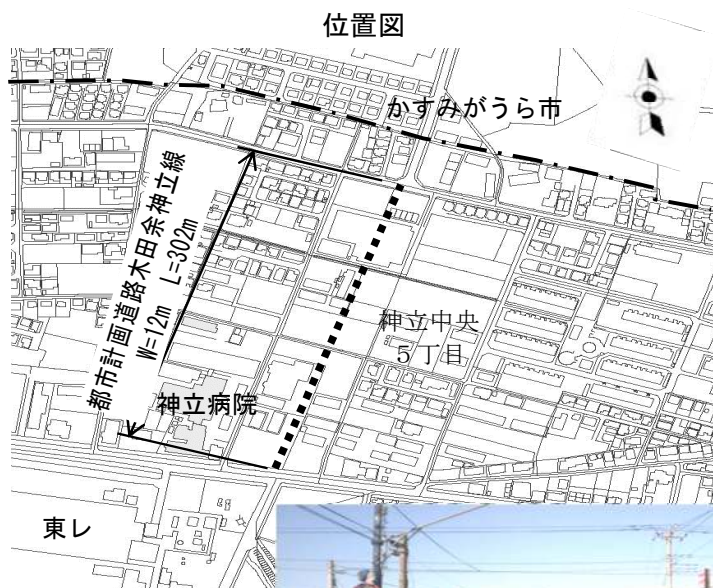
(3) 平成25年度事業 用地買収(27,520千円) 556㎡, 補償(72,900千円) 8件,
道路改良・舗装工事等(106,800千円) L=469m, 委託料等(5,862千円)



位置図

◎木田余神立線街路事業（Ⅱ期）（6,839千円）

- (1) 全体整備延長 L=302m, 幅員 W=12m
- (2) 事業年度 平成24年度～平成31年度
- (3) 平成25年度事業 道路詳細設計委託等(6,839千円) L=302m



現 況（神立方面を望む）

【期待される効果】

中心市街地及び市北部地域の交通渋滞が緩和され、交通アクセスが向上することはもとより、歩道整備による安全な歩行者空間の確保が図られるなど、円滑で快適な交通体系の構築に寄与します。

◎神立停車場線街路事業（114,601千円）

- (1) 全体整備延長 L=287m, 幅員 W=22m
- (2) 事業年度 平成23年度～平成30年度
- (3) 平成25年度事業 用地買収(50,000千円) 1,500㎡
補償(50,000千円) 4件
委託料等(14,601千円)



現 況（公民館前から神立駅方面を望む）

款	土木費	項	都市計画費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	常名虫掛線街路事業 《合併特例債事業》							
施策の大綱	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり							
予算額	特定財源			一般財源	予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他					
352,587	127,000	214,200		11,387	・工事請負費	298,000		
					・公有財産購入費	21,707		
					・補償補填及び賠償金	30,050		
					・委託料等	2,830		

施策の概要

【施策の目的】

常名地内の旧国道125号線から虫掛地内の県道小野土浦線までの区間を整備し、常名・虫掛地区における円滑な交通動線の確保を図るとともに、常名運動公園へのアクセス道路としての役割を果たします。

【施策の概要】

◎常名虫掛線街路事業（352,587千円）

- (1) 全体整備延長 L=1,440m, 幅員 W=16m
- (2) 事業年度 平成22年度～
- (3) 平成25年度 用地買収(21,707千円) 約2,100㎡
補償(30,050千円)
測量・設計委託等(2,830千円)
道路改良工事(254,000千円) L=480m
流末排水路工事(21,000千円) L=74m
仮排水路工事(23,000千円)



位置図

【期待される効果】

常名・虫掛地区を連絡する幹線道路が整備されることで、中心市街地と並木地区を結ぶ新たな交通ネットワークが構築され、周辺地域の活性化や暮らしやすさの向上につながります。

款	土木費	項	都市計画費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	真鍋神林線延伸道路整備事業 《合併特例債事業》							
施策の大綱	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり							
予算額	特定財源			一般財源	予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他					
166,300	80,000	81,900		4,400	・公有財産購入費 135,000 ・補償補填及び賠償金 25,000 ・役務費 6,300			

施策の概要

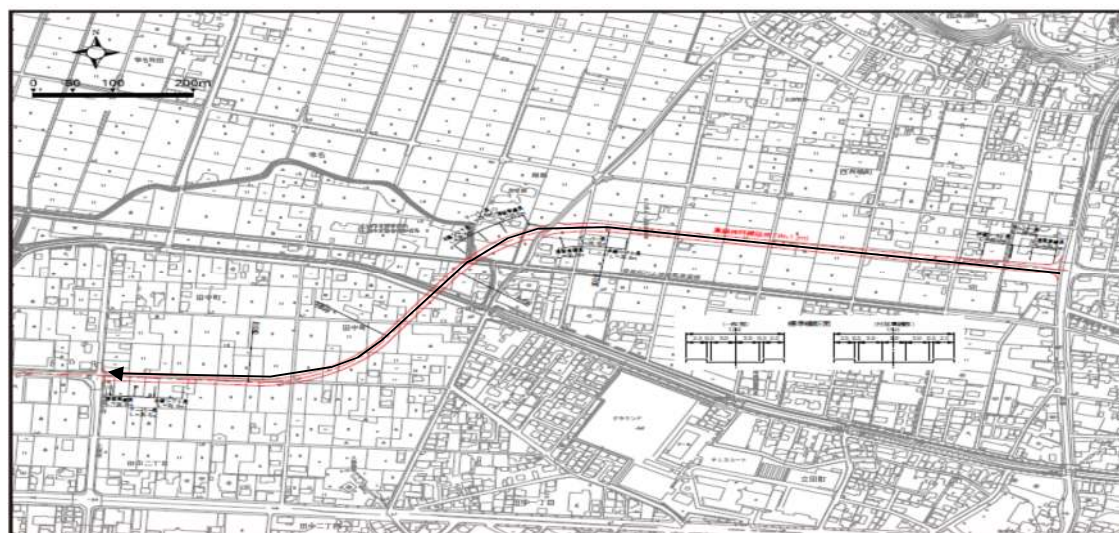
【施策の目的】

国道125号線から県道小野土浦線までの区間を整備し、円滑な交通動線を確保することで、市の広域的な地域間連携の強化を図ります。

【施策の概要】

◎真鍋神林線延伸道路整備事業（166,300千円）

- (1) 全体整備延長 L=1,300m, 幅員 W=12~15m
- (2) 事業年度 平成24年度～平成27年度
- (3) 平成25年度事業
 - ・用地買収(135,000千円) 7,000㎡
 - ・補償(25,000千円) 1件, 役務費(6,300千円)



位置図

【期待される効果】

中心市街地の交通渋滞が緩和され、交通アクセスが向上することはもとより、歩道整備による安全な歩行者空間の確保が図られるなど、円滑で快適な交通体系の構築に寄与します。また、本路線の隣接区域には消防本部移転地があることから、緊急車両の到達時間短縮が期待できるほか、市営斎場へのアクセスが向上します。

款	土木費	項	都市計画費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	公園・緑地管理事業							
施策の大綱	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり							
予算額	特定財源				一般財源	予算の概要		
	国県支出金	地方債	その他					
102,128	25,000	47,100		30,028	・工事請負費 ・委託料		94,400 7,728	

施策の概要

【施策の目的】

良好な風致、景観を備えた地域環境を形成し、自然とのふれあいを通じて、心身共に豊かな人間形成を目的とします。また、レクリエーションの場を提供するとともに、震災発生時の避難地・延焼防止の役割を果たし、災害後の復旧活動の拠点とします。

【施策の概要】

		(単位：千円)
施設等名称	工事等の名称	予算額
(仮称)川口二丁目地内芝生広場	暫定広場周辺整備工事	16,000
乙戸沼公園	ジョギングコース整備工事	69,400
(仮称)赤池公園	実施設計委託	7,728
霞ヶ浦総合公園	園路灯ＬＥＤ化工事	9,000
合 計		102,128



乙戸沼公園（現況）

【期待される効果】

園路灯等の改修による利便性・安全性の向上、また、公園の整備により、快適でうるおいのある都市空間の形成に寄与します。

款	土木費	項	都市計画費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	新治総合運動公園整備事業 《合併特例債事業》							
施策の大綱	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり							
予算額	特定財源			一般財源	予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他					
645,890		613,500		32,390	・工事請負費 645,890			

施策の概要

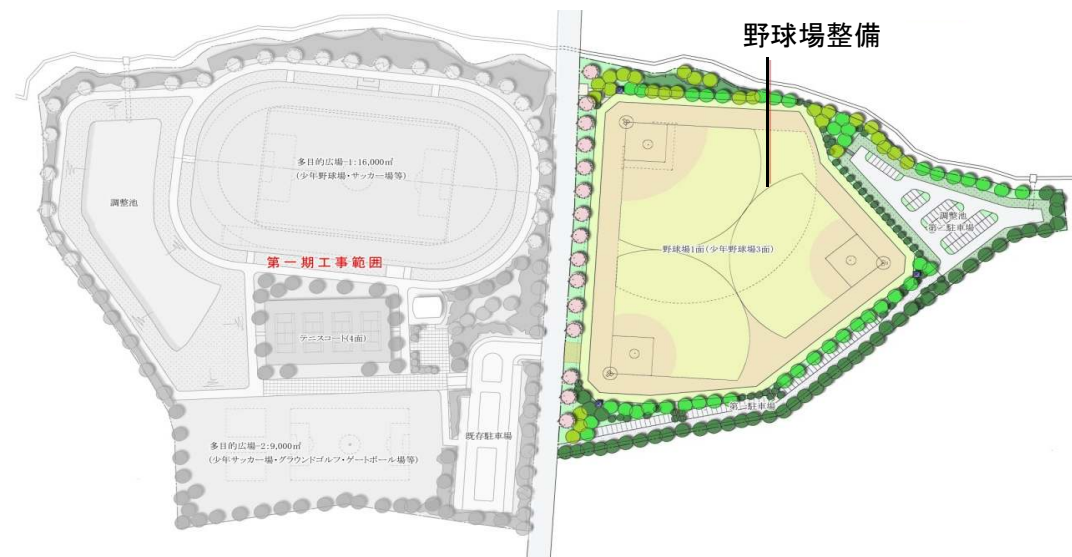
【施策の目的】

新治総合運動公園の整備及び機能更新を図り、土浦市及び県南地区の中核都市に相応した施設整備の推進により、市民の健康増進やスポーツ振興に寄与するとともに、市民の憩いの場とします。

【施策の概要】

(単位：千円)

施設等名称	工事等の名称	予算額
新治総合運動公園	野球場整備工事	645,890
合 計		645,890



新治総合運動公園 全体計画平面図

【期待される効果】

常名・川口・新治運動公園の機能更新と合わせ、県南地区の中核都市に相応した施設整備を推進することで、憩いの場の創造とともに、市民の健康増進やスポーツの振興に寄与します。

款	土木費	項	都市計画費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	中心市街地活性化推進事業							
施策の大綱	産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり							
予算額	特定財源			一般財源	予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他					
5,609				5,609	・委託料 5,000 ・報償費等 609			

施策の概要

【施策の目的】

平成25年度の認定を目指し、改正中活法に基づく中心市街地活性化基本計画を策定中であり、計画に位置付けるまちづくり事業を推進することにより、人口減少社会の到来等に対応した「コンパクトで賑わいのあるまちづくり」の実現を図ります。

【施策の概要】

- (1) 中央一丁目地区
民間事業者の活用を想定した事業化調査
- (2) 川口二丁目地区
PFI導入可能性調査、民間施設誘致調査、公園の基本計画
- (3) 中心市街地における低・未利用地
空地や駐車場などの低・未利用地をまちなか居住や商業活性化に結び付ける事業化の検討

【期待される効果】

中心市街地のグランドデザインを具現化するとともに、魅力あるまちづくりを推進し、居住人口の増加を図り、当地区のにぎわいを創出します。



款	土木費	項	都市計画費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	中心市街地活性化基本計画管理運営事業							
施策の大綱	産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり							
予算額	特定財源			一般財源	予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他					
3,090				3,090	・委託料	1,743		
					・負担金補助及び交付金	1,000		
					・報償費等	347		

施策の概要

【施策の目的】

旧中心市街地活性化法に基づき、平成12年4月に策定した「土浦市中心市街地活性化基本計画」による各種活性化施策を推進している中、平成18年には市街地の整備改善によるまちなか居住に重点を置いた新法に法律が改正され、人口減少社会の到来等に対応した「コンパクトで賑わいのあるまちづくり」を目指す考えが示されています。

このようなことから、現計画を活かしながら、新法の理念に沿った新たな中心市街地活性化基本計画を策定します。

【施策の概要】

「土浦市中心市街地活性化基本計画策定委員会」、「土浦市中心市街地活性化基本計画庁内策定検討会議」を設置し、基本計画を策定します。

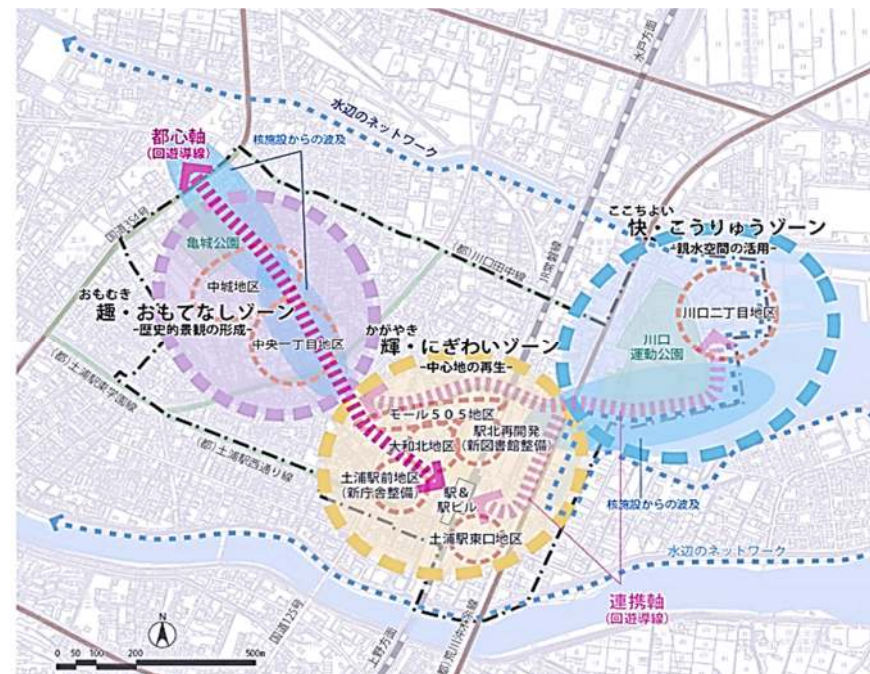
- ・土浦市中心市街地活性化基本計画策定委託 1,743千円

＜継続費＞ 平成22年度 4,620千円
 平成23年度 1,134千円
 平成24年度 1,743千円
 平成25年度 1,743千円
 総額 9,240千円

- ・土浦市中心市街地活性化協議会補助金 1,000千円

【期待される効果】

「土浦市中心市街地活性化基本計画」に基づき、中心市街地における都市機能の増進及び経済活力の向上を総合的かつ一体的に推進することにより、中心市街地の活性化が図られます。



款	土木費	項	都市計画費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	土浦駅前西口周辺地区市街地総合再生事業（大和北地区）							
施策の大綱	産業の振興を図り，活力とにぎわいのあるまちづくり							
予算額	特定財源			一般財源	予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他					
3,034				3,034	・委託料 3,000 ・使用料及び賃借料等 34			

施策の概要

【施策の目的】

土浦駅前西口周辺地区市街地総合再生区域（約9ha）のうち，良好な市街地整備の必要がある大和町北地区について，事業化を推進します。

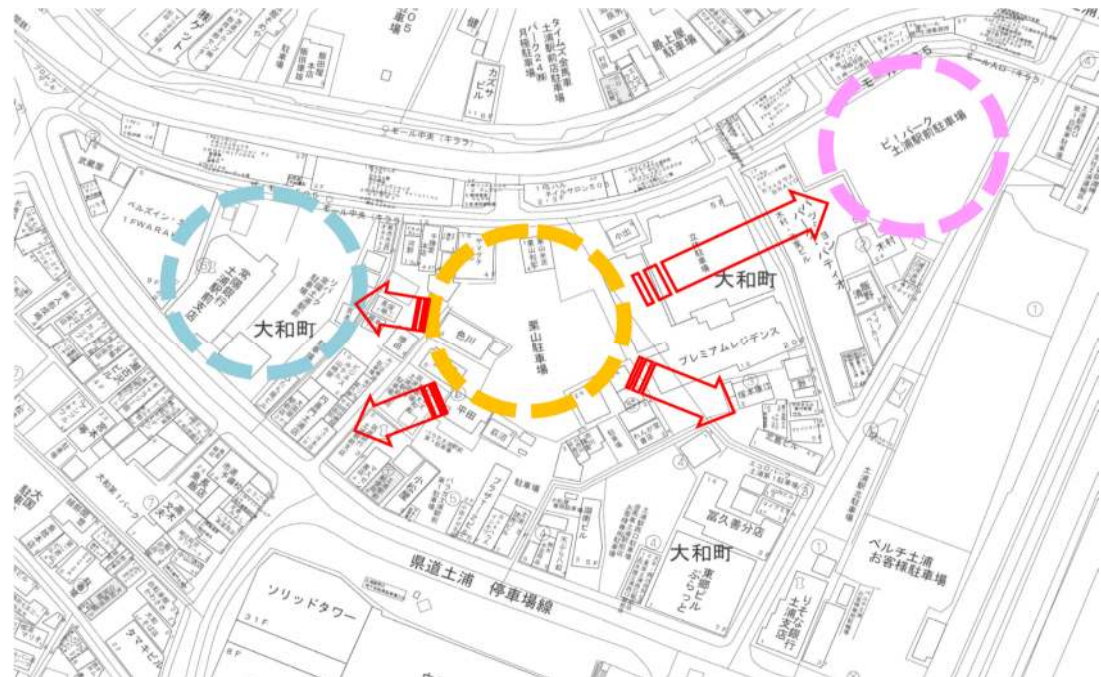
【施策の概要】

大和町北地区の土地利用構想・案の一部区域の事業化を図り，中心市街地の活性化に資するため，事業化検討調査（建物の共同化や道路整備，公共公益施設導入の検討）を実施します。

- ・事業化検討調査 3,000千円

【期待される効果】

中心市街地のまちなか居住の推進や区画道路の整備等により，生活環境改善と回遊動線の創出が図れます。



款	土木費	項	都市計画費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	土浦駅西口ペDESTロリアンデッキ整備事業							
施策の大綱	産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり							
予算額	特定財源			一般財源	予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他					
5,519		4,500		1,019	・委託料	5,000		
					・役務費	359		
					・旅費	80		
					・需用費等	80		

施策の概要

【施策の目的】

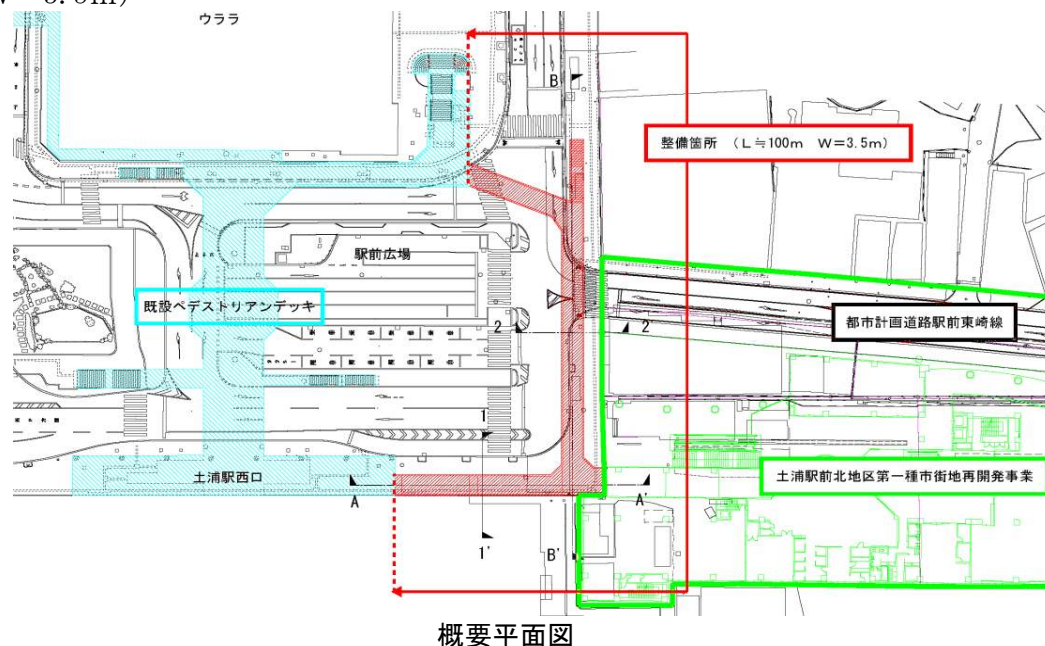
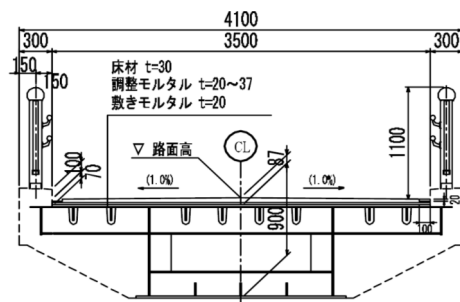
土浦駅前北地区市街地再開発事業による施設建築物と既存ペDESTロリアンデッキの連結整備を行い、新図書館等への動線を確保します。また、歩車道の分離により、駅前広場を利用する車両及び歩行者の安全性・利便性の向上を図ります。

【施策の概要】

土浦駅西口ペDESTロリアンデッキ整備事業（L≒100m，W=3.5m）

◎変更設計業務委託 5,000千円

- ・上屋設計及び図面作成（L≒100m）
- ・既設計の照査及び設計図修正



【期待される効果】

歩行者の安全が確保されるとともに、快適な回遊性が生まれ、街なかに人が集い、にぎわい空間の創出に寄与します。

款	土木費	項	住宅費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	公営住宅管理運営事業							
施策の大綱	人と環境にやさしい循環型社会づくり							
予算額	特定財源			一般財源	予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他					
49,200	15,250	15,200		18,750	・ 工事請負費 48,700 ・ 委託料 500			

施策の概要

【施策の目的】

土浦市人にやさしいまちづくり計画に基づき、住宅に困窮する低所得者や高齢者、障害者が、安心・安全に生活できるように、快適な居住環境の整備と居住環境の向上を図ることを目的としています。

【施策の概要】

(単位：千円)

施設等名称	事業の名称	事業の内容と目的	予算額
都和中耐住宅	受水槽設備改修工事	6面点検可能な地上式受水槽に改修し、住環境の改善を図ります。	30,500
竹の入第2住宅	水洗化工事	水洗化により、衛生面の改善を図ります。	16,000
常名第3住宅	入居者移転引越業務委託	耐震化された他の市営住宅への移転を促進し、入居者の生命と財産の安全を図ります。	500
	入居者移転住宅解体工事		2,200
合 計			49,200

【期待される効果】

市営住宅入居者が安心・安全に生活できるよう、今後も継続して既存施設の維持管理を図りながら、市営住宅ストック改善のための施策を計画的に実施することにより、良好な居住環境の提供に寄与します。

款	土木費	項	住宅費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	災害時住宅供給促進計画策定事業							
施策の大綱	市民の生活と財産を守り，安心・安全な，明るいまちづくり							
予算額	特定財源			一般財源	予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他					
3,000			3,000		・委託料 3,000			
施 策 の 概 要								
【施策の目的】 大規模災害時に想定される住宅必要量をあらかじめ予測し，用地や公共住宅等の準備を検討しておくことにより，被災者への非常時住宅供給が円滑に図れるよう，計画を策定します。 【施策の概要】 ・災害時における住宅必要量の検討 ・仮設住宅建設候補地の選定 ・仮設住宅入居者の把握，募集，選定要領の検討 ・災害時の住宅供給マニュアルの作成 ・応急仮設住宅建設用地計画図の作成 ・災害時における「住」対策に関わる組織（担当部署）の確立 ●財源として，市町村復興まちづくり支援事業費交付金を活用します。 【期待される効果】 市民が住宅を失うような大規模災害が発生したときに，住宅供給を円滑に行い，避難所生活期間の短縮に寄与します。								